

1 創造的復興による新たな広島県づくり ～平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興プラン～

復旧・復興に向けて

- 平成30年7月豪雨災害で被災された皆さまの一日も早い日常の回復が図れるよう、復旧・復興プランに基づき、
「安心を共に支え合う暮らしの創生」 「未来に挑戦する産業基盤の創生」
「将来に向けた強靱なインフラの創生」 「新たな防災対策を支える人の創生」
の4つの柱により、速やかな復旧・復興に全力で取り組んできた。
- こうしたなか、
 - ・ みなし仮設住宅等、仮住居住まいの方がピーク時の約1,300世帯から368世帯にまで減少
 - ・ 被災者の生活再建に向け、5,000を超える対象世帯全てに対して、個別支援計画を策定
 - ・ 全国最多の4万7329か所の土砂災害警戒区域の指定を完了するとともに、避難行動の分析結果等も踏まえ、ソフト・ハード両面からより効果の高い被害防止策を推進するなど、復旧・復興に向けた動きは着実に進んできている。
- しかしながら、被災前の状態よりさらに良い状態に力強く押し上げるための創造的復興を成し遂げるためには、中長期的な視点に立った更なる取組が必要である。
- このため、国において、本県の目指す創造的復興が実現できるよう、適切な対策を講じるとともに、財政面等において、これまで以上の後押しを行うよう強く要望する。

1 創造的復興による新たな広島県づくり ～平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興プラン～

創造的復興

『創造的復興による新たな広島県づくり』が、県内各地で進展中

安心を共に支え合う暮らしの創生



地域共生社会プラットフォーム

地域共生社会の実現に向けて、どのような手法が効果的か、モデル事業を通じて検証

未来に挑戦する産業基盤の創生



事業承継事例集

地域にとって大切な会社や事業を残すため、事業承継のモデルとなる取組事例集を作成

将来に向けた強靱なインフラの創生



災害関連緊急砂防事業

被災前の構造にこだわることなく、被害の発生の要因を踏まえた工法の選定等により、強靱なインフラを整備

新たな防災対策を支える人の創生



自主防災組織の訓練

県内の各地域で防災活動をリードする自主防災組織の強化やその中心となる人材育成が拡大